(19) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭59—89338

⑤ Int. Cl.³
 G 03 B 21/60
 G 02 B 3/02

識別記号

庁内整理番号 Z 8306-2H 7448-2H **63公開** 昭和59年(1984)6月16日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

匈レンチキユラーレンズ板

②実

願 昭57-185495

②出

願 昭57(1982)12月7日

の考案 者

者 伊沢晃

川崎市川崎区大師駅前1-16-

7 -- 708

⑦考 案 者 本田誠

砂実用新案登録請求の範囲

光透過性基板の一方の面にレンチキュラーレンズが設けられ、他方の面の前記レンチキュラーレンズの非集光部には、表面に微小な凹凸部を形成してなる凸状部が、前記基板より突出して設けられ、該凸状部表面の凹凸部には光吸収性組成物よりなる光吸収性層が設けられていることを特徴とするレンチキュラーレンズ板。

第1図

上福岡市上野台 3 — 5 —129—3

05

砂考 案 者 森口勇太郎

東久留米市弥生1-5-25

⑪出 顧 人 大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1丁目

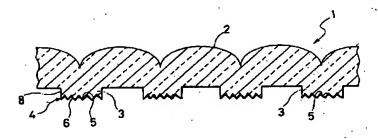
12番地

四代 理 人 弁理士 細井勇

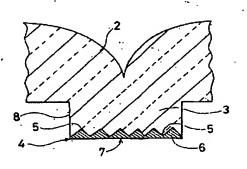
図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は本考案のレンチキュラーレンズ板の1実施例の平断面略図、第2図は、第1図の要部拡大図、第3図は光吸収性層を設ける他の実施例を示す要部拡大平断面図、第4図、第5図は凸状部の形状の異なる他の実施例を示す平断面略図である。

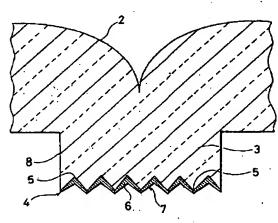
1……レンチキュラーレンズ板、2……レンチキュラーレンズ、3……凸状部、5……凹凸部、6……光吸収性層。



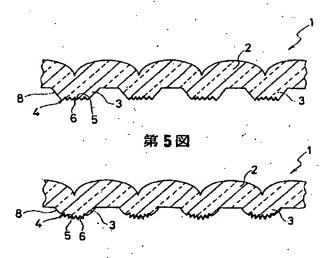
第3図







第 4 図



2 開実用 昭和 59 — 89338

(9) 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出顧公開

^⑩ 公開実用新案公報(U)

昭59—89338

©Int. Cl.³ G 03 B 21/60 G 02 B 3/02 識別記号

庁内整理番号 Z 8306-2H 7448-2H

母公開 昭和59年(1984)6月16日

審査請求 未請求

(全 頁)

⊗レンチキユラーレンズ板

顧 昭57—185495

寧出 順 昭57(1982)12月7日

⑦考 来 者 伊沢晃

少実

川崎市川崎区大師駅前1-16-

7 - 708

位考 案 者 本田誠

上福岡市上野台 3 — 5 —129—3 05

UD

多考 案 者 森口男太郎

東久留米市弥生 1 — 5 —25

①出 順 人 大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町1丁目

12香地

羽代 理 人 弁理士 細井勇



明 網 青

- 考案の名称
 レンチキュラーレンズ板
- 2. 実用新案登録請求の範囲

光透過性基板の一方の面にレンチキュラーレンズが設けられ、他方の面の前配レンチキュラーレンズの非集光部には、表面に優小な凹凸部を形成してなる凸状部が、前記基板より突出して設けられ、該凸状部表面の凹凸部には光吸収性組成物よりなる光吸収性層が設けられていることを特徴とするレンチキュラーレンズ板。

3. 考案の詳細な説明

本考案は透過型映写用スクリーン板に適した レンチキュラーレンズ板に関するものである。 テレビジョンや映画の画像を明宝において拡 大投影し得る透過型映写用スクリーン板 としてはフレネルレンズ板とレンチキュラーレ ンズ板とを組み合わせたものが一般に使用され ている。そしてレンチキュラーレンズ板には下さ 明宝での使用時に画像のコントラストを低下さ

(1)

公開事用 昭和59— 85838



せないため、即ち、外光の不要な反射を防止す るために、レンチキュラーレンズ板のレンチキ ユラーレンズ形状を設けていない 面に、レンチ キュラーレンズの非集光部相当箇所に光吸収性 **組 成 物 よ り た る 光 吸 収 性 層 (通 常 「 ブ ラ ツ ク ス** トライプ」と称せられる。)を設けることは知 られている。かかる光象収性層を設ける意様と しては、(1)平面の所定位置に散ける態様、何凸 部に設ける態様、19凹部に設ける態様があり、 (1)においては印刷ないし転写、何においては印 刷、転写ないし塗装、付においてはワイピング 塗装により散けるのが普通であり、光根収性層 とレンチキュラーレンズとの位置合わせの容易 さ、光吸収性層を設ける工程の容易さから何の 懇様が便利であるとされている。何に比較する と(1) では光販収性層とレンチキュラーレンズと の位置合わせが容易ではなく、19においては確 突性に欠ける。しかしながら上記句の態様にお いても未だ欠点がある。即ち、従来の何の態様 のレンチキュラーレンズ板は、光張収性層を設

(2)



本考案は上記の点に鑑みなされたもので、光販収性組成物の付着性が良好で、外光の反射防止を行なうに必要な厚さの光吸収性層が確実に形成され、しかも形成された光吸収性層が密着性に優れ、長期間にわたつて不要な外光の反射防止効果を維持することを目的とする。

即ち本考案は、光透過性基板の一方の面にシ(3)

公■実用 昭和 59— 9338



ンチキュラーレンズが散けられ、他方の面の前記レンチキュラーレンズの非集光部には、要面に被小な凹凸部を形成してなる凸状部が、前記を板より突出して散けられ、酸凸状部で面の凹凸が出た。 の部には光吸収性組成物よりなる光吸収性層が を持つないることを特徴とするレンチャュラーレンズ板を要旨とする。

以下本考案の実施例を図面に基き説明する。



は第3個に示すように凹凸部5の凹部内一杯に 光吸収性組成物が充填され、光吸収性層表面7 が平滑になるよう設ける態様のいずれでもより が、光吸収性層6の表面7における、外光の鏡 面反射を防止する上で、光吸収性層6の表面7 は、凹凸形状を有するように設けることが好ま しい。

公開実用 昭和 59— 338



凸状部 8 の頂部 4 のみならず立ち上り部 8 の一部又は全部にわたつて形成した場合、該凹凸部 5 に設けられた光吸収性層 6 の面積が増大し、レンチキュラーレンズ 2 の非収光部の遺骸率をより増大することができる。

次に本考案のレンチキュラーレンズ板1の製 造方法について説明する。



を加えてもよく、以上の透明性合成樹脂を主体とする組成物を公知の押し出し、キャステイング等によりシート若しくは板とする。

上記光透過性差板にレンチキュラーレンズ3 お よ び 凸 状 郁 3 を 成 形 す る に は 種 々 の 方 法 が あ り、例えば押し出し者しくはカレンダー法によ り一旦作製されたシート若しくは板のロール成 形やプレス成形、異型押し出し成形、或いはキ ヤステイング等が挙げられる。これらの成形は 光透過性基板の作製時若しくは作製後に適宜に 行なわれるが、押し出し若しくはカレンダー法 によりシート者しくは板を作製しつつ、直ちに ロール成形する方式が工業的に有利である。ロ ール 成 形 も 行 な う 場 合 、 レ ン チ キ ユ ラ ー レ ン ズ 2の成形を行なうために所定のレンズ形状の逆 型形状を、金属、プラスチック、ゴム、木質系、 複合材料等の表面に、機械切削、電解加工、放 電加工、レーザー加工、エッチングないし電鉄 等により 設けたロール も用い、 又、 微小な凹凸 部5を形成してなる凸状部3の成形を行なうた



めのロールも上記と同様にして作製したものを 用いることができる。

上記2種のロールをレンチキュラーレンズ2の非収光部に凸状部3が形成されるように位置を合わせて設置し、必要に応じ光透過性基板及び/又はロールを加熱しつつ加圧することにより光透過性基板を所定の形状に成形することができる。

(8)



以上説明したように本考案のレンチキュラー レンズ板は、凸状部表面に扱小な凹凸部を形成 し、該凹凸部に不要な外光の反射を防止するた めの光吸収性層を設けてなるものであるから、 光吸収性層を形成する際に、該凹凸部に光吸収 性組成物が付着し易く、光吸収性層形成のため の作業が容易であるとともに、光吸収性組成物 の付着ムラを生じる奥れはなく不要な外先の反 射防止効果を発揮するに必要な厚さの光表収性 層を確実に形成することができる。しかも凸状 部要面に最小な凹凸部を形成したため、酸凹凸 部に光吸収性層が喉い込んで投鍋効果を発揮し、 敗光吸収性層が良好な密着性を有する結果、光 敷収性層が容易に剝離することがなく、 長期間 にわたつて不要な外光の反射防止効果に優れた 性能を維持することができる。而して本考案の レンチキユラーレンズ板は、フレネルレンズ等 と組合わせて透過遊失写用スクリーン板として 使用した場合、長期間にわたり鮮明な画像を得 ることができる効果を有する。

(9)



4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示すもので、第1図は本考案のレンチキュラーレンズ板の1実施例の平断面略図、第2図は、第1図の要部拡大図、第3図は光吸収性層を設ける他の実施例を示す要部拡大平断面図、第4図、第5図は凸状部の形状の異なる他の実施例を示す平断面略図である。

1 ··· レンチキュラーレンズ板、 2 ··· レンチキュラーレンズ、 8 ··· 凸状部、 5 ··· 凹凸部、 6 ··· 光敷収性層

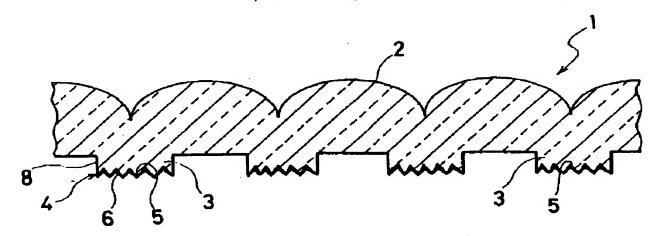
実用新案登録出顧人 大日本印刷 株式会社

代 選 人 弁理士 細 井

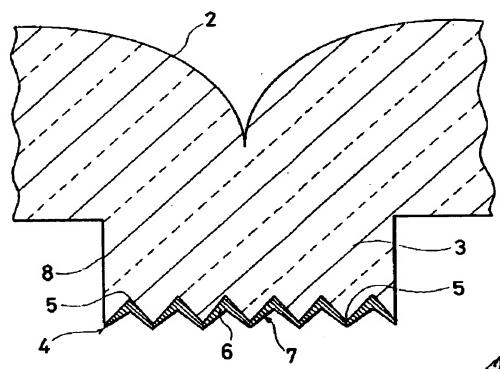


公開実明 昭和59— 89368

第 1 図



第 2 図

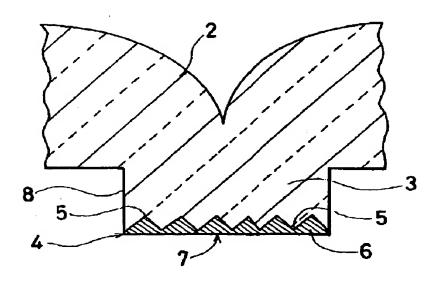


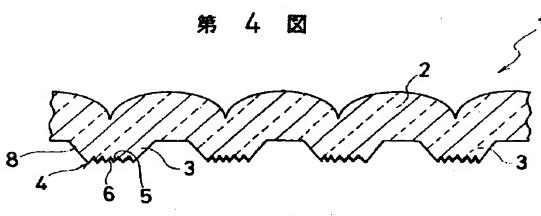
402 実開59-89338

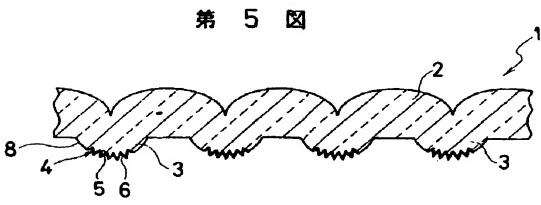
実用新宏登録出願人 大日本印刷株式会社

代理人 弁理士 細 井 勇

第 3 図







実用研索登録出願人 大日本印刷株式会社 403 代理人 弁理士 細 井 勇 実間の 29338

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.